



**大前 裕也 議員**  
(加西維新の会)



## 下里地区のスーパー跡地開発の状況は

**問** 下里地区スーパー跡地の商業施設の誘致の促進状況については、3月議会で質問し、情報提供もしている。現在の進捗状況は。

**答** 3月議会以降、新たに交渉のテーブルにのった案件はありません。このたびの加西市地区計画変更の大きな目的の一つは、誘致条件をより有利にすべく、店舗の延べ床面積の上限を1,500平米から、ほとんどの食品スーパーが対応可能な3,000平米まで引き上げることです。誘致を早く

進めたい考えから、区長や地権者、開発事業者には、兵庫県との下協議がまとまった2月の時点で、延べ床面積の引上げを予定している旨を伝えていきます。

今後は、過去に話が進まなかった企業や反応がなかった企業も含め、再度当たっていくよう開発事業者とも協議しています。

**問** 加西市として下里地区のスーパー跡地開発をどのように進めようとしているのか、計画を伺う。

**答** 地区計画において、商業施設誘致を行う地域交流拠点地区のほか、住宅整備を目指す新規住宅地区、既存集落で戸建て住宅や共同住宅、小規模な店舗、工場の建設を可能にする既存集落地区の3種類の地区の設定を行っています。スーパー跡地については

継続して誘致に取り組めますが、商業施設の立地は食品スーパーであれば半径5キロメートル以内または車で10分以内の範囲における定住人口が重要となりますので、若い世代が多く人口減少が緩やか、もしくは将来も持続可能な地域をつくるまちづくりが重要と考えています。新規住宅地区での計画は、商業誘致が成功すれば開発事業者の住宅整備も実現性が高まるとともに、線引き廃止がされる令和8年度以降は、西笠原町にかかわらず農地でなければ開発の素地が広がります。下里地区において住宅開発の計画が持ち上がった折には、ご協力をお願いします。

### ■その他の質問項目

- ・2025年大阪・関西万博について
- ・アステアかさいについて



**北川 克則 議員**  
(令和新風加西)



## 泉統合小学校区のスクールバスと公共交通

**問** スクールバスと地域を走る公共交通が相互に補完し、泉校区の地域の活性化と暮らしやすい場所になればという思いで質問します。スクールバスの参考事例の調査は。

**答** 近隣市においても小・中学校の統合に併せて、スクールバスを運行されています。専用のスクールバスを走らせているところ、既存の路線バスを活用しているところ等、地域の実情に合わせて運行されています。県下の状況を聞き取りしていますが、実際に現地の視察も行っています。

**問** 通学支援輸送調査の検討はどのようにされるのか。

**答** 専門的な知見から多角的な分析も交えて、スクールバスの調査や計画策定の業務委託を考えています。今後の学校再編においては相当な台数のスクールバスが必要となり、多額の経費もかかると見込んでいます。計画策定について教育委員会に検討組織は設けませんが、今回の通学支援輸送調査に関しては市全域に関わりますので、公共交通担当部署や公共交通活性化協議会とも連携しながら進めます。

**問** 地域の公共交通に期待することは。

**答** 公共交通は、法的な制約があります。ただし、スクールバスとうまく連携して活用できれば、効果的な運行となると思

います。特に日吉校区においてはデマンド型バスを利用されています。児童がスクールバスに乗り遅れたり学校から早く帰るといった場合に、かなり重宝すると思いますので、スクールバス等を補完する役割が期待できます。路線バスでは、路線の変更は調整が必要になりますので、どのように連携することができるのか、今後、関係機関との協議を進めます。

**要望** 不測の事態に対する備えや、子供の送迎や高齢者の移動など交通弱者への対応が必要な場面を想定し、公共交通のデマンド化をぜひ推進していただきたい。

### ■その他の質問項目

- ・カーブミラーの設置管理について
- ・通学路の安全管理について
- ・公共施設の土地について